

Digital Contents of the Year '10

The 16th AMD Award



31st May, 2011

Association of Media in Digital

Digital Contents of the Year '10／第16回AMD Award 概要

- 名 称: デジタル・コンテンツ・オブ・ジ・イヤー'10／第16回AMDアワード
- 主 催: 社団法人デジタルメディア協会(略称/AMD)
- 協 賛: イート金沢実行委員会、株式会社インフォシティ、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ、株式会社角川グループホールディングス、株式会社角川コンテンツゲート、グリー株式会社、コーエーテクモホールディングス株式会社、株式会社バンダイナムコホールディングス
- 後 援: 総務省
- 推薦期間: <年間コンテンツ賞> 平成22年12月1日(水)～平成23年1月14日(金)
- 発 表: 平成23年3月1日(火) <年間コンテンツ賞>
- 授 賞 式: 日 時/平成23年5月31日(火) 16:30～
会 場/明治記念館「富士の間」
出席者/300名(予定)
- 趣 旨: コンテンツ制作者の立場からデジタルコンテンツ産業の発展のために、デジタルメディアの質的向上ならびに人材育成を目的として、「AMDアワード」を制定致しております。
- 対象作品: <年間コンテンツ賞>
平成22年1月1日より12月31日の間に日本国内において発売・発表(当該期間内に新たに普及・注目されたものを含む)されたデジタルメディアにて表現されるコンテンツ及び最新のデジタル技術を駆使して制作された国内(海外展開含む)の作品(デジタルコンテンツ及びサービス)。
- 審査方法: 「年間コンテンツ賞」については、実行委員会の指名する第16回AMDアワードサポーターにより推薦された作品を別に組織する審査会《審査員長:浜野保樹(東京大学大学院教授)》にて審議し、各賞を決定しています。
- 賞の内容: <年間コンテンツ賞>
1)大賞/総務大臣賞(該当1作品の制作者)
◆Digital Contents of the Year'10 The AMD Grand Prize ～総務大臣賞～
2)AMD理事長賞(該当1作品の制作者)
3)優秀賞(該当9作品の制作者)
4)功労賞
業界への長年の献身・功績のあった人物に対し与えられます。
5)江並直美賞(新人賞)
対象業績が業界における第一線へのデビューを飾るものであることを前提に業界の発展に寄与したと認められる人物に対し与えられます。
6)リージョナル賞(該当1作品の企画団体)
地域に根ざしたデジタルコンテンツやサービスの中で、最も優れた功績を挙げた個人・団体に授与されます。
- ※1)、2)は、「優秀賞」授賞作品の中から選出されます。授賞式当日の発表となります。

Digital Contents of the Year '10/第16回AMD Award 受賞者

- ◆ 功労賞 Digital Contents of the Year'10 The Life Achievement Award
トマ・シルデ(Thomas SIRDEY)氏/JTS Group、ジャパンエキスポ創業者
ジャン=フランスワ・デュフール(Jean-François DUFOUR)氏/JTS Group、ジャパンエキスポ創業者
サンドリーヌ・デュフール(Sandrine DUFOUR)氏/JTS Group、ジャパンエキスポ創業者
シボ・紗江(Sahē CIBOT)氏/Japanエキスポ国際関係&コンテンツ担当

- ◆ 江並直美賞(新人賞) Digital Contents of the Year'10 The Naomi Enami Award
児玉 裕一 氏

- ◆ リージョナル賞 Digital Contents of the Year'10 The Regional Achievement Award
あおもり映像コンテンツ・プロモーション事業
/青森県企画政策部広報広聴課 あおもり映像コンテンツ・プロモーション事業担当

- ◆ 優秀賞 Digital Contents of the Year'10 The AMD Award

作品名(50音順)	受賞者
IS Parade	KDDI 株式会社
Android	Google Inc. Android Team
AKB48 コンセプト	秋元 康 氏
告白	「告白」ポストプロダクションチームおよびスタッフ一同
コロニーな生活☆PLUS	株式会社コロプラ 代表取締役 馬場 功淳 氏
Sony Presents 「2010 FIFA ワールドカップ 南アフリカ 3D」	スカパーJSAT 株式会社 ソニー株式会社
ポケットモンスターブラック・ホワイト	株式会社ゲームフリーク 増田 順一 氏
もし高校野球の女子マネージャーが ドラッカーの『マネジメント』を読んだら	岩崎 夏海 氏 株式会社ダイヤモンド社
Ustream	Ustream Asia 株式会社

本日、優秀賞 9 作品中より「大賞・総務大臣賞」並びに「AMD 理事長賞」が発表されます。

受賞者：

トマ・シルデ (Thomas SIRDEY) 氏 / JTS Group、ジャパンエキスポ創業者

ジャン=フランソワ・デュフル (Jean-François DUFOUR) 氏 / JTS Group、ジャパンエキスポ創業者

サンドリーヌ・デュフル (Sandrine DUFOUR) 氏 / JTS Group、ジャパンエキスポ創業者

シボ・紗江 (Sahē CIBOT) 氏 / ジャパンエキスポ国際関係&コンテンツ担当



©SEFA EVENT

授賞理由：

10 年以上にわたり、フランスにおいて日本文化とエンターテインメントを紹介するジャパンエキスポを開催し、欧州最大のフェスティバルに育て上げ、アニメ・ゲーム等のデジタルコンテンツの欧州向け発信においても中心的な役割を果たしている。

受賞者プロフィール：

トマ・シルデ (Thomas SIRDEY) 氏 / JTS Group、ジャパンエキスポ創業者

アニメーション、J-POP と漫画出版を手がけるグループにおいて、営業とマーケティングマネージャーとしてキャリアをスタートさせる。職務上、漫画のライセンス管理に関わる事もあった。日本の文化と娯楽を普及するというジャパンエキスポの目的に魅かれ、2000 年に入社。その後、主にイベントのプロモーション、マーケティングと事業開発を担当する。現 JTS グループの最高責任者の一人であり、事業開発を担当している。JTS グループは、ヨーロッパにおける日本文化とエンターテインメントのプロモーションをしている企業で構成されるグループである。

ジャン=フランソワ・デュフル (Jean-François DUFOUR) 氏 / JTS Group、ジャパンエキスポ創業者

コンピューターエンジニアとしてキャリアをスタートさせる。その後、アニメーション、J-POP と漫画出版を手がけるグループにおいて、制作・著作権部門のマネージャーとなる。その後、自身が持つ日本文化に対する情熱をフランスの人々と分かち合うことを目的として、2000 年にジャパンエキスポを立ち上げる。現 JTS グループの最高責任者の一人であり、ゼネラルマネージャーである。

サンドリーヌ・デュフル (Sandrine DUFOUR) 氏 / JTS Group、ジャパンエキスポ創業者

テクニカルアシスタントとしてキャリアをスタートさせる。そして、Procter & Gamble にて、テクニカルセールスマネージャーとなり、2003 年フランスのアニメ専門の出版社にて、CG デザイナーとして働いた後、フリーランスとして漫画の出版社と仕事を続ける。その後、日本のエンターテインメントに魅了され、2000 年にジャパンエキスポを設立する。そして、2002 年には出展者管理の責任者となる。現 JTS グループの最高責任者の一人であり、セールスマネージャーである。

シボ・紗江 (Sahē CIBOT) 氏 / ジャパンエキスポ、国際関係&コンテンツ担当

7年間に渡り、日本のエンターテインメントを扱う業界で経験を積んだ後、2008 年のジャパンエキスポより日本関係担当として働き始める。現在はジャパンエキスポにおいて、国際関係・コンテンツ部門のディレクターを務めると同時に JTS Group のグループ会社の一つであるアジア専門の音楽イベント会社 Soundlicious の最高責任者も兼任している。

受賞コメント :

私たちが熱狂する日本文化、またそれに対する私たちの情熱は、時には日本の皆様の目には不思議に映っていたかもしれません。

この賞は、そんな私たちの今までの取り組みを評価して頂いた結果であると同時に、私たちが強く惹きつけてやまない日本という国との関係の中で新しい一歩を踏み出すための希望を表現しているように感じます。

ジャパンエキスポご紹介 :

今から11年前、日本文化の情熱的なファンであった数人の若者達が、フランスにおいて当時まだ未開拓だった漫画及び伝統文化、そして「今」の日本文化に特化したイベントを開催するという壮大な案を企画、そして実行に移しました。こうして始まったジャパンエキスポは見事成功を納め、2007年からはヨーロッパ最大の日本文化とエンターテインメントのフェスティバルと成り得ました。2010年開催の第11回ジャパンエキスポは多くの出展者、パートナー、企業、ゲストそして約100,000㎡を有する会場を埋め尽くした173,000人以上もの来場者の皆様のお陰で、大盛況に終了致しました。2011年のジャパンエキスポは6月30日～7月3日に開催されます。

(資料別添)

取材対応 :

シボ紗江

14 Place Georges Pompidou 93160 Noisy-Le-Grand France

Tel: +33 6 62 06 26 05 E-mail: scibot@goma-communication.com

受賞者：見玉裕一(こだま ゆういち)氏



受賞理由:

美しく端正な映像を、邪魔しない自然でシンプルなインターフェースを使ったインタラクティブな映像で、ネットでの商品紹介や通販のあり方やイメージを革新し、コマーシャルの新しい方法を提案し続けている。今後、どのような新しい映像を見せてくれるか、最も注目される映像作家の一人である。

受賞者プロフィール：

映像ディレクター。1975年生まれ。東北大学理学部化学系卒業。大学在学時より仙台にて映像制作の活動を開始。卒業後、広告代理店勤務を経て独立。以後、フリーのディレクターとしてCM、MVなどの演出を手掛ける。2006年「CAVIAR」に所属。2007年に公開されたUNIQLOCKでは、カンヌ国際広告祭、ONE SHOW、米クリオ賞の世界3大広告祭にてグランプリ獲得。D&AD BLACK PENCIL、NY ADC 最高賞、SSTV MVA 08,09 ベストディレクター、東京インタラクティブ・アド・アワード グランプリなど、国内外の受賞歴も多数。

受賞コメント：

このような賞を頂き、大変驚いております。
これからもっとドキドキできる体験を演出したいし、自分も体感したいです。

取材対応：

有限会社キャビア マネージャー 中村ミサ
Tel: 03-3779-6969 Fax: 03-3779-6970 E-mail: misa@caviar.ws

作品：あおもり映像コンテンツ・プロモーション事業

会社：青森県企画政策部広報広聴課



©2011 Aomori Prefectural Government All rights reserved.

授賞理由：

職員が直接撮影・制作した映像素材を誰もが使えるよう動画共有サイトで公開し、地域発コンテンツ制作を促すという、オリジナルな企画であり、地域の創意工夫が込められている。アクセス数の伸長が活発で、2次創作品も投稿されるなど、事業のモデル性については非常に価値が高い。

受賞者：あおもり映像コンテンツ・プロモーション事業担当

受賞者プロフィール：

「あおもり映像コンテンツ・プロモーション事業」は、職員が企画立案した事業を、自らが中心となって行い、そのために必要な財源(予算)と人員を用意する「提案者事業実施制度(庁内ベンチャー制度)」により2010年4月からスタート。

それぞれ別の部署に在籍していた3名の職員が、広報、知的財産、プロモーションといった各人の経験を活かし、この事業を成功させるべく集結。

青森を映像で伝えるため、日夜、撮影・編集・公開に取り組んでおり、公開した映像素材は事業開始から1年足らずで1000本を超えた。

受賞コメント：

この度は荣誉ある賞をいただき、誠にありがとうございます。メンバー一同たいへん感激しています。青森の映像コンテンツが増え、多くの方に青森を知ってもらおうきっかけになればとの思いで活動しています。この受賞を励みに、さらに充実した映像を公開していきたいと思えます。

作品紹介：

青森県職員が自ら映像(動画)を撮影し、県が著作権を保有する映像として管理・蓄積するとともに、映像素材として公開し、青森県民に限らず、多くの方に利用していただくことで青森県の効果的なPRに繋げる事業です。映像素材の利活用を促進するため、YouTubeに「あおもり映像素材ライブラリ」を設け映像を公開しています。

取材対応：

青森県 企画政策部広報広聴課 山本 章

Tel: 017-734-9141 Fax: 017-734-8031 E-mail: amcp@pref.aomori.lg.jp

作品：IS Parade

会社：AH Project Team/株式会社 博報堂/株式会社 スパイスボックス/
株式会社ティー・ワイ・オー アイ・ディ事業部/株式会社 AID-DCC/千房けん輔



© KDDI CORPORATION

授賞理由：

短文が羅列されるだけの Twitter を、フォロワーがプラカード型のキャラクターになってパレードに参加し、発言内容は吹き出しで表示され、ズームイン/アウトも可能とした。文字だけの表現を斬新な表示インタフェースで、美しく、かつ楽しく可視化することに成功している。

受賞者：KDDI 株式会社

受賞コメント：

この度は、名誉ある AMD Award の優秀賞を頂き、誠にありがとうございます。

IS Parade はちょうど twitter の広がる時期に重なったこともあり、多くの方楽しんで頂くことができましたので、非常に嬉しく思っております。スマートフォンの広がりと共に、「ソーシャル」はより重要なキーワードになってくると当社でも捉えておりますので、今後もより多くのユーザー様に当社のサービスを楽しんで頂けるよう、精進して参ります。

作品介绍：

Twitter アカウントで楽しめるパレードジェネレーターです。Twitter の ID や好きな言葉を入力すると、フォロワーがキャラクターになってパレードを始めます。au のスマートフォン「IS series」の“Share”というコンセプトを体現するプロモーションとして 2010 年 4 月 30 日に公開し、現在までに 1500 万回以上のパレードが行われています。Twitter 共同創業者のビズ・ストーン氏をはじめ、国内外の著名人にもツイートされ、世界中で大行進が広がっています。

取材対応：

KDDI 株式会社 宣伝部 和田 純一

Tel: 03-6678-0701 Fax: 03-6678-0298 E-mail: jun-w@kddi.com

作品：Android

会社：Google Inc.



© Google

授賞理由：

スマートフォンやタブレットPC等の携帯情報端末向けを主ターゲットに、オープンソースOSとして、先行するiOSを凌駕する普及実績を示し、スマートフォン等の新しい個人端末市場を活性化させた。

受賞者：Android Team

受賞者プロフィール：

1998年にスタンフォード大学の学生だったラリー ペイジとサーゲイ ブリンにより設立されました。Googleの革新的な検索技術は世界中の人々と情報をつないでいます。Googleが提供するターゲット広告プログラムは、ウェブ体験を充実させるだけでなく、あらゆるサイズのビジネスに測定可能な効果をもたらします。Googleはシリコンバレーに本社を置くほか、米国、欧州、アジアの様々な地域に拠点を構えています。

受賞コメント：

本日は、名誉ある賞を頂き、誠に有難うございました。今後とも、「世界中の情報を整理し、世界中の人々がアクセスできて使えるようにすること」というGoogleのミッションのもと、Androidをはじめとした、真に革新的なサービスの開発・提供に努めてまいります。

作品紹介：

Androidとは、Open Handset Allianceによって開発された、携帯端末に柔軟性とオープンな環境をもたらすプラットフォームです。

取材対応：

グーグル株式会社 グーグル広報部

E-mail: pr-jp@google.com

作品：AKB48 コンセプト



授賞理由：

専用劇場を作り、無名の少女たちが国民的アイドルになっていくプロセスを観せる企画に対して。その活動は、劇場の公演にとどまらず、現代の情報通信技術を活用することにより、リアルとバーチャルの新しい市場を創造した。

受賞者：秋元康氏 / 作詞家・プロデューサー

受賞者プロフィール：

東京都出身。作詞家。美空ひばり『川の流れのように』をはじめ、EXILE、ジェロ、AKB48 などのヒット曲を生む。テレビ番組の企画構成、映画の企画・原作、新聞・雑誌の連載など、活動は多岐にわたる。京都造形芸術大学副学長、日本放送作家協会理事長、日本音楽著作権協会(JASRAC)理事も務める。2005年12月より、総合プロデューサーとして「AKB48」を手掛け、トップアイドルグループに育て上げた。

受賞コメント：

名誉ある賞をいただき、光栄に存じます。最初にお話をいただいた時は、受賞の理由がよくわからなかったのですが、私がプロデュースする AKB48 が劇場から発信し、デジタルメディアによって、ファンを広げていったことを評価していただいたと知りました。確かに、もし、デジタルメディアのインフラが整っていなければ、キャパシティ 250 人の小さな劇場で毎日、公演している AKB48 が、口コミで広がるには、10 年がかかっていたでしょう。しかし、公演を観たファンが、インターネットを通じて、『秋葉原に面白いアイドルグループがいる』と発信してくれたからこそ、急速に人気が出たのです。劇場公演というアナログな仕掛けとデジタルメディアの双方向性が AKB48 を作ったと言っても過言ではありません。これからも、今回の受賞を励みに、デジタルメディアに発信し続けたいと思います。ありがとうございました。

作品紹介：

秋元康が『会いに行けるアイドル』をコンセプトにプロデュースした AKB48。秋葉原にある専用劇場で毎日、2 時間弱の歌とダンスの公演をし続け、CD が売れない時代にミリオンセラーを連発する国民的アイドルグループとなった。ネットのブログや巨大掲示板で話題になったことがブレイクのきっかけとなり、今も、劇場中継をネット配信するなど、デジタルメディアとの関わりが深い。また、アジアを中心に世界的に AKB48 の人気広がっているのは、インターネットでの情報によるものである。

取材対応：

社団法人デジタルメディア協会

Tel: 03-5798-7101 Fax: 03-6277-3116 E-mail: award16th@amd.or.jp

作品：告白

会社：「告白」製作委員会



©2010「告白」製作委員会

授賞理由：

中島哲也監督が、日本社会そのものを最新のデジタル映像で描く試みは、一つのジャンルを形成しており、映像表現の可能性を切り開き続けている。湊かなえの同名ベストセラーが原作の本作は、作品の評価だけでなく、3週連続で前週を上回る成績を残し、興収は38.5億円に達し、商業的成功も収めた。

受賞者：「告白」ポストプロダクションチームおよびスタッフ一同

受賞者プロフィール：

中島哲也監督を中心に、CGディレクター・増尾隆幸、ビジュアルエフェクツスーパーバイザー・柳川瀬雅英、ビジュアルエフェクツプロデューサー・土屋真治らがポストプロダクションを担当。クライマックスの印象的な爆破シーンなどデジタル映像表現を駆使して、「告白」の世界観を作り上げました。

受賞コメント：

このような題材の映画が、大勢の人々に受け入れてもらえたことが監督として何よりの喜びです。製作中は何時にもまして暗中模索。優秀なキャストとスタッフに支えてもらわなければ決して完成出来なかったでしょう。皆の代表として、今回の受賞に感謝いたします。(監督・中島哲也)

作品紹介：

衝撃のベストセラー×中島哲也＝前代未聞、報復絶倒、驚愕・仰天・極限のエンターテインメント作品！
09年本屋大賞に輝いた湊かなえの同名ベストセラー小説を、「パコと魔法の絵本」の中島哲也監督が映画化。愛娘を殺された松たか子演じる女性教師が、犯人はクラスにいと告白。そして容赦なく真相を明らかにして生徒に復讐していく衝撃のミステリー。ショッキングな内容にもかかわらず、興行収入は38億円を超える大ヒット。第34回日本アカデミー賞では最優秀作品賞、最優秀監督賞、最優秀脚本賞、最優秀編集賞を受賞した。

取材対応：

東宝 映画調整部 窪田 義弘

Tel: 03-3591-3911 Fax: 03-3591-2811 E-mail: y_kubota@toho.co.jp

作品：コロニーな生活☆PLUS

会社：株式会社コロプラ



©COLOPL,Inc

授賞理由：

携帯電話の位置情報送信機能を利用したシミュレーションゲーム、いわゆる「位置ゲー」のパイオニア的存在で、2010年4月には100万ユーザーを突破、2011年2月現在約170万ユーザー。近くのコロニーとのコミュニケーション機能や数多くのゲーム内アイテム等の取引以外にも、全国各地の老舗店舗や鉄道会社、旅行会社等と提携し、ゲームと連動させるなど、ゲームと現実をリンクさせて、地域活性化に寄与している。

受賞者：代表取締役 馬場 功淳 氏

受賞者プロフィール：

九州工業大学卒業後、大学院博士課程の2003年にPHS「AirH²Phone」向けに個人サイト『コロニーな生活』を開発。2005年『コロニーな生活☆PLUS』の提供を開始。「位置ゲー」のパイオニアとしてサイトを個人運営しながらIT企業にて勤務していたが、2008年に株式会社コロプラを設立。「位置」×「エンターテインメント」が融合した新しい世界を創り、移動を創出することで地域・日本が元気になることを目指している。

受賞コメント：

この度は、大変光栄な賞をいただきまして、誠にありがとうございました。コロプラは、これからも、「位置」×「エンターテインメント」を通して、地域を活性化させ、日本を元気にするような取り組みを行ってまいります。

作品紹介：

「コロニーな生活☆PLUS」略して「コロプラ」は、ケータイの位置情報を利用したコミュニケーションゲームです。ゲームを始めるとひとつのコロニー(自分の街)をもらうことができ、コロニーに水や食料などの資源を設置することで、コロニーを発展させて住人を増やしながら、近くのコロニーとのコミュニケーションを楽しめます。コロプラの世界での仮想通貨「プラ」は、1km移動すれば1プラもらえ、実際の移動がゲームと連動するため、毎日の通勤・通学やおでかけが楽しくなります。その他にも、実在の厳選店舗と連動したお土産や旅行ツアーの企画、鉄道会社とのコラボなど、「おでかけ」が楽しくなる仕掛けがたくさん詰まっています。

取材対応：

株式会社コロプラ 副社長広報担当 千葉 功太郎

Tel: 03-5725-1315 Fax: 03-5725-1318 E-mail: press@colopl.co.jp

作品：Sony Presents 「2010 FIFA ワールドカップ 南アフリカ 3D」



©写真:宋錫仁/アフロ

授賞理由:

国内初のW杯の 3D 中継。先例のない3D生中継を、スカパー！HDの 3D 専門チャンネルでソニーとの共同作業により実現し、3D 映像の迫力と魅力を認知させた。放送コンテンツのライブ 3D 化の可能性を示し、TV をはじめ劇場での利用など、ライブコンテンツへの活用が期待できる。

受賞者：スカパーJSAT 株式会社
ソニー株式会社

受賞コメント：

Sony Presents 「2010 FIFA ワールドカップ 南アフリカ 3D」の放送を契機に、日本初となる 3D 専門チャンネル「スカチャン 3D169」を開局し、現在に至るまで、100タイトル以上の3D コンテンツを放送してまいりました。今回の受賞を励みに、今後も時代のニーズにあった様々なコンテンツを皆様へ提供し続けて参りたいと考えております。

作品紹介：

日本初となる 3D 専門チャンネル「スカチャン3D169」において、ソニー株式会社と共同で、2010 FIFA ワールドカップ 南アフリカ 日本×オランダ戦、決勝戦の生中継を含む計 25 試合の3D 中継を行い、スポーツ中継の新しい楽しみ方を皆様に提供しました。

取材対応：

スカパーJSAT 株式会社 編成部 堀 智一

Tel: 03-5571-7838 Fax: 03-5571-1745 E-mail: tmhori@sptvjsat.com

作品：ポケットモンスターブラック・ホワイト

会社：株式会社ゲームフリーク



©2010 Pokémon. ©1995-2010 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.

授賞理由：

4年ぶりの完全新作となる今作では、150種類以上の新たなポケモンが登場し、冒険の舞台も一新された。また、パソコンとの連動や、通信機能を活用した遊びの充実など、革新的な要素が満載である。子どもたちは勿論、大学生・社会人・親世代に至る幅広い層からの支持を得て、DSソフト史上最速で販売本数 500 万本を突破した。

受賞者：ディレクター 増田 順一

受賞者プロフィール：

ビデオゲームディレクター。

『ポケットモンスター』シリーズの第一作からの開発者であると同時に、同社が制作するビデオゲームソフトのすべてに携わっている。

職務内容はディレクターを中心に、ゲームデザイン、作曲、シナリオなど、多岐に渡る。最新作『ポケットモンスターブラック・ホワイト』においてはディレクターを務めた。

1968年1月12日生まれ。横浜市出身。1989年に株式会社ゲームフリーク入社。

受賞コメント：

TVゲームを1人で楽しむのではなく、大勢のプレイヤーと一緒に楽しむこと。そして、世界中の人たちと楽しくコミュニケーションできること、を目指しました。制作期間4年と、とても苦勞しましたが、多くの方々から評価していただきこのような賞をいただけたことを光榮に思います。

作品紹介：

『ポケットモンスター』シリーズ最新作となる本タイトルは、全世界で 1700 万本以上をセールスした『ポケットモンスター ダイヤモンド・パール』以来、4年ぶりの完全新作です。150種類以上のまったく新しいポケモンが登場、冒険の舞台も新たな「イッシュ地方」となりました。さらに、パソコンとの連動や、通信機能を使った遊びの充実、グラフィックのクオリティ向上、3対3で戦うことができるトリプルバトルなどの新ゲームシステムをはじめ、様々な新要素が満載です。

取材対応：

株式会社ポケモン 広報担当 桜井 美樹

Tel: 03-5775-9127 Fax: 03-5775-9117 E-mail: sakurai@pokemon.co.jp

作 品 : もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら

会 社 : 株式会社ダイヤモンド社



©2011 Diamond,inc. All rights reserved.

授賞理由:

ドラッカーの経営書を、高校野球の女子マネージャーの行動を通して平易に解説することで、書籍の大ヒットとともに、電子書籍で10万部以上のダウンロードを達成した。我が国で「電子書籍元年」といわれた年のエポックとなった。

受賞者 : 岩崎 夏海 氏
株式会社ダイヤモンド社

受賞コメント :

大変名誉な賞をいただき光栄です。

著者の岩崎夏海さんにご快諾をいただいたこと、技術者の高山恭介さんにお力添えをいただいたこと、そしてダイヤモンド社の電子書籍チームと営業部のがんばりでヒットにできました。

これからも良いコンテンツをつくるべく奮闘します！

作品紹介 :

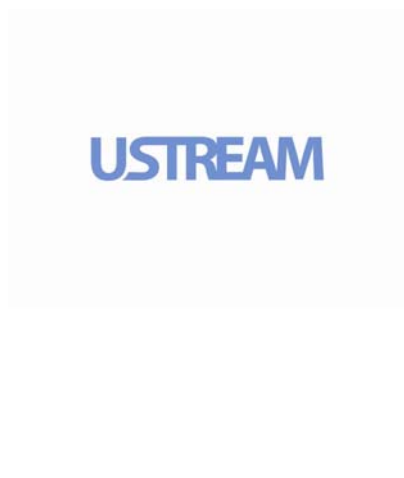
高校野球の女子マネージャーの川島みなみがドラッカーの「マネジメント」を読んで、野球部の仲間たちと甲子園を目指す青春小説。書籍版219万部、電子版12万部をあわせて231万部のベストセラー!!

取材対応 :

株式会社ダイヤモンド社 営業局営業部マーケティング担当 松井 未来

Tel: 03-5778-7241 Fax: 03-5778-6619 E-mail: m_matsui@diamon.co.jp

作品 : Ustream



授賞理由:

ライブの動画配信サービスで、個人の映像配信やプロのアーティストや放送局との連動配信など、誰もが簡単に生配信できるシステムを提供し、リアルタイム映像の面白さを世界に広めた。Twitter など他のアプリとも連動でき、ニュース報道のあり方を変える可能性も秘めた新しいソーシャルメディアプラットフォームを創出した。

受賞者 : Ustream Asia株式会社

受賞者プロフィール :

Ustream は、インターネットを利用したライブ動画配信事業の先駆者です。2007年3月にアメリカで事業を開始し、PC やスマートフォンを通じて、誰でも美しいライブ動画を配信でき、また配信された動画をいつでも視聴できるサービスを提供しています。Ustream の双方向コミュニケーション機能により、フェイスブック、ツイッター、myspace や AIM をリアルタイムに楽しむことができ、ユーザーは Ustream を通じて何百万もの視聴者へ情報発信を行なっています。また、2010年5月にはアジアでの事業展開を目的とした Ustream Asia 株式会社を設立しました。国内でも既に多くの著名人や企業が Ustream の利用を開始しており、メディア・コンテンツホルダーと連携した多くの プレミアムコンテンツ(映画や音楽、スポーツ関連映像など)も配信しているのが特長です。

受賞コメント :

Ustream では、個人(アマチュア)からプロまで、誰もが簡単にライブ配信できるシステムを提供し、リアルタイム映像の面白さを世界中に広めることに努めてきました。動画を元に、Twitter などの SNS と連動することで、ユーザー同士が「共感」することの出来る、新しい「場」、ソーシャルメディアプラットフォームを創出できたと考えています。

作品介绍 :

Ustream は、インターネットを利用したライブ動画配信サービスです。個人(アマチュア)からプロまで、誰もが簡単にライブ配信できるシステムを提供しており、Twitter などの SNS と連動することで、ユーザー同士が「共感」することの出来る新しい「場」ソーシャルメディアプラットフォームを創出しています。

取材対応 :

Ustream Asia 株式会社 広報担当:長田(おさだ) E-mail: japan@ustream.tv

Digital Contents of the Year '10 / 第16回 AMD Award 審査員

◆ 年間コンテンツ賞 審査員 8名

< 審査員長 >

東京大学大学院
新領域創成科学研究科教授
浜野 保樹

< 審査員 >

アイティメディア株式会社	ITmedia + D Mobile 編集長	園部 修
株式会社アスキー	週刊アスキー編集長	宮野 友彦
株式会社アバンティ・プラス	映画ジャーナリスト	関口 裕子
株式会社 Impress Watch	INTERNET Watch 編集長	工藤 ひろえ
株式会社エンターブレイン	週刊ファミ通主筆	加藤 克明
株式会社角川マーケティング		崎山 智弘
株式会社日経 BP 社	日経エンタテインメント! 編集委員	品田 英雄

社団法人デジタルメディア協会(略称:AMD)について

【設立】 平成6年11月25日

【所管】 総務省情報流通行政局情報通信作品振興課(コンテンツ振興課)

【活動概要】

約60社の会員により、コンテンツ分野で活躍するプレーヤーの支援、コンテンツ分野におけるビジネス環境の整備、新たな配信メディアの開拓など、コンテンツビジネスの発展に向けた多様な取組を進めています。AMDは、政府の知的財産戦略本部の取組とも歩調を合わせ、より多くの事業者や関係者と共に、一層のデジタルメディア・コンテンツ産業の振興に向けて活動を拡大してまいります。

【取組事例】

- AMD Award ほか奨励事業
毎年の優れた制作活動を行った個人やグループを表彰する「AMD Award」を開催。また、eAT 金沢、東京国際映画祭、アニメーション神戸、ワイヤレスジャパンなど多くのイベントへの特別協力・後援。
- 新たなメディアにおけるコンテンツビジネスの模索
「出版委員会」「著作権委員会」「デジタル・コンテンツ利用促進委員会」「デジタルメディア普及委員会」「ネットワーク・モバイル委員会」等AMDの各委員会活動を通じてのコンテンツビジネスの健全かつ効率的な育成・発展への寄与。

～AMDの沿革～

当協会は、平成6年(1994年)11月25日に、総務省(当時 郵政省)所管の社団法人として設立されました。当初は団体名「(社)マルチメディア・タイトル制作者連盟」として、CD-ROM などにおけるコンテンツ制作事業者を中心として発足し、主にデジタルコンテンツの制作分野における共通課題への対応を目的として活動を進めていました。

その後、インターネットやモバイルの爆発的な普及、急速な技術革新やライフスタイルの変化により、デジタルコンテンツは、ネットワークを活動領域とする時代に遷移してきました。こうした新たな事業環境に対応すべく、平成11年8月5日、団体名称・定款を変更し、ネットワーク・コンテンツや新たなメディアを視野に入れた「デジタルメディア協会」(Association of Media in Digital)として一新。

さらに、平成19年11月30日には、「制作」面が中心だった団体の活動目的から、トータルに「コンテンツ及びサービスの用途拡大、質的向上、量的拡充及び多様性の確保」を主軸に据える定款変更を行い、新生AMDとして広範な活動を展開しています。